

**平成 27 年度静岡県計画に関する  
事後評価  
(個票)**

**令和 5 年 11 月  
静岡県**

※ 令和 4 年度執行事業への財源充当分個票のみ抜粋

事業の区分	I-1 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業	
事業名	【No. 1】 がん医療均てん化推進事業費助成	【R4:総事業費】 777,119 千円 【基金充当額】 H27:206,769 千円 R3:130,340 千円 R4:345,597 千円
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域（賀茂、熱海伊東、駿東田方、富士、静岡、志太榛原、中東遠、西部）	
事業の実施主体	病院	
事業の期間	平成27年7月～令和5年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	<p>県民が地域の身近なところで適切ながん医療を受けられるよう、低侵襲医療から化学療法や緩和ケアなどの専門的な医療まで、地域でがん診療を行う病院がその役割に応じて診療機能の向上を図っていく必要がある。</p> <p>アウトカム指標 がん医療の高度化、専門性の向上等により、がん治療の機能分化が促進した病院数 【R3】18施設（令和2年度）→20施設（令和3年度） 【R4】19施設（令和3年度）→20施設（令和4年度）</p>	
事業の内容	<p>(1) がん診療連携拠点病院が低侵襲医療等を行うために必要な医療施設、設備・機器の整備について助成</p> <p>(2) がん診療連携拠点病院以外の国・県指定病院が放射線療法を行うために必要な医療施設・設備の整備について助成</p> <p>(3) がん相談支援センター及び国・県指定病院以外の病院が、化学療法や緩和等を行うために必要な医療施設・設備の整備について助成</p> <p>(4) 院内がん登録について実施体制が整備されていない病院等を集めて県内4箇所登録事務に関する知識及び技術を習得するための研修会の開催</p> <p>(5) がん患者ピアサポート相談窓口の設置による患者とその家族の支援</p>	
アウトプット指標 (目標値)	<p>【平成27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院等のうち高度かつ専門的な医療施設・設備を整備した病院の数 8病院</li> <li>がん登録研修を受講する病院等の職員の数 120人以上</li> </ul> <p>【令和3年度・令和4年度】</p> <p>(1) がん診療連携拠点病院：1箇所程度（毎年度）</p> <p>(2) がん診療連携拠点病院以外の国・県指定病院：1箇所程度（毎年度）</p>	

<p>アウトプット指標 (達成値)</p>	<p><b>【平成 27 年度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん診療連携拠点病院のリニアック設備整備（2 病院）</li> <li>・静岡県地域がん診療連携推進病院の緩和ケアなどの設備整備</li> <li>・院内がん登録研修会（313 人参加）</li> <li>・がん患者ピアサポート窓口の設置、がん診療連携拠点病院等への周知、ピアサポーターの登録管理並びに病院への派遣（1 病院）</li> </ul> <p><b>【令和 3 年度】</b></p> <p>(1) がん診療連携拠点病院：1 施設 (2) がん診療連携拠点病院以外の国・県指定病院：1 施設</p> <p><b>【令和 4 年度】</b></p> <p>(1) がん診療連携拠点病院：5 施設 (2) がん診療連携拠点病院以外の国・県指定病院：1 施設</p>
<p>事業の有効性・効率性</p>	<p>事業終了後 1 年以内のアウトカム指標： 病院におけるがん医療の高度化、専門性の向上等により、がん治療の機能分化が促進した二次医療圏の数</p> <p>2 医療圏（令和 3 年度） 4 医療圏（令和 4 年度）</p> <p><b>（1）事業の有効性</b></p> <p>本事業により、がん診療連携拠点病院に低侵襲医療の先進的な医療に係る施設を整備できた。また、県指定病院には放射線療法に係る設備・機器を整備することができ、その病院の役割に応じた診療機能の分化・強化が図られた。予定していた医療機関が補助申請を辞退等したため目標値に達しなかった。</p> <p>令和 3 年度に、2 医療圏で機器整備を実施し、がん治療の機能分化を促進させることができた。</p> <p>令和 4 年度に 4 医療圏で機器整備を実施し、がん治療の機能分化を促進させることができた。</p> <p><b>（2）事業の効率性</b></p> <p>先進的又は高度ながん治療を行う病院の集約化と、医療資源が乏しい地域で専門的ながん治療を行う病院の整備を進め、がん医療の機能分化を合わせた重層的ながん診療提供体制を構築するため、施設・設備の助成対象を、その病院の役割・機能に合わせたものとしている。</p>
<p>その他</p>	<p>事業内容の（4）（5）は R 3 実施（R 3 計画）から実施なし。</p>

事業の区分	I-1 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業	
事業名	【No. 2】病床機能分化促進事業費助成	【R4:総事業費】2,395,024千円 【基金充当額】H27:63,240千円 R3:7,466千円 R4:233,106千円
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域（賀茂、熱海伊東、駿東田方、富士、静岡、志太榛原、中東遠、西部）	
事業の実施主体	病院	
事業の期間	平成27年7月～令和5年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	<p>地域包括ケアシステムの推進のために、急性期からの患者受入、在宅復帰支援、緊急時の受入を行う地域包括ケア病床及び回復期リハビリテーション病床への転換を促進するなど、地域医療構想における各医療機能の将来の必要量に向けて、地域にふさわしいバランスのとれた医療機能の分化と連携を推進していく必要がある。</p> <p>アウトカム指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療構想に基づく2025年の必要病床数 高度急性期：3,160床、急性期：9,084床、回復期：7,903床、慢性期：6,437床</li> <li>・上記のうち令和3年度における回復期必要病床数の確保 回復期病床の施設整備：2箇所110床（R01回復期：4,885床、R02回復期見込：5,193床 → R03回復期予定：5,303床） → R04回復期予定：4,926床）</li> <li>・許可病床の減床：▲57床（R03～R05補助事業）</li> </ul>	
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急性期からの患者受入、在宅復帰支援、緊急時の受入を行う地域包括ケア病床及び回復期リハビリテーション病床への転換に伴う施設整備、設備整備事業に対して助成する。</li> <li>・建物の老朽化等による建替等の整備事業のうち、地域医療構想に基づき病床数を削減する病院の増改築事業に対して助成する。</li> </ul>	
アウトプット指標（当初の目標値）	<p>【平成27年度】（～平成29年度）</p> <p>①地域包括ケア病床の整備に向けた施設整備（増改築又は改修）8箇所 ②地域包括ケア病床の整備に向けた医療機器の新規購入又は更新9箇所</p> <p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケア病床及び回復期リハビリテーション病床の施設設備整備 4箇所</li> <li>・病床のダウンサイジングを伴う施設整備 1箇所</li> </ul> <p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケア病床及び回復期リハビリテーション病床の施設設備整備 4箇所</li> </ul>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病床のダウンサイジングを伴う施設整備 1箇所</li> </ul>
アウトプット指標 (達成値)	<p><b>【平成 27 年度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 地域包括ケア病床の整備に向けた施設整備（増改築又は改修） 2箇所</li> <li>② 地域包括ケア病床の整備に向けた医療機器の新規購入又は更新 3箇所</li> </ul> <p><b>【令和 3 年度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケア病床の設備整備 1か所</li> <li>・病床のダウンサイジングを伴う施設整備 1か所</li> </ul> <p><b>【令和 4 年度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケア病床及び回復期リハビリテーション病床の施設設備整備 3か所</li> <li>・病床のダウンサイジングを伴う施設整備 1か所</li> </ul>
事業の有効性・効率性	<p>事業終了後 1 年以内のアウトカム指標：</p> <p><b>【令和 3 年度】</b></p> <p>地域包括ケア病床 4 床転換増 許可病床 57 床減（R3～R5 事業）</p> <p><b>【令和 4 年度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケア病床 66 床転換増（うち 40 床は R4～R5 事業）</li> </ul> <p><b>（1）事業の有効性</b></p> <p>本事業により地域包括ケア病床が 4 床整備され、また、許可病床が 57 床減少し、地域医療構想の達成に向けた直接的な効果があった。（令和 3 年度）</p> <p>本事業により地域包括ケア病床が 66 床整備され、また、許可病床が 57 床減少し、地域医療構想の達成に向けた直接的な効果があった。（令和 4 年度）</p> <p><b>（2）事業の効率性</b></p> <p>各医療圏における地域医療構想調整会議において、医療機関ごとに事業実施の合意を得ている。</p>
その他	

### 3. 事業の実施状況 (平成27年度静岡県計画の事後評価)

※平成27年度国当初予算・補正予算分の基金のうち、令和4年度執行分

#### (事業区分3：介護施設等の整備に関する事業)

事業の区分	3. 介護施設等の整備に関する事業	
事業名	【No. 1】 静岡県介護施設 等整備事業	【総事業費：執行額累計】 計 2,743,299千円 (内訳：27当初1,116,237千円、27補正1,627,062千円) ○平成27年度執行額計 935,942千円 (内訳：27当初935,942千円、27補正0千円) ○平成28年度執行額 363,141千円 (内訳：27当初75,141千円、27補正288,000千円) ○平成29年度執行額 768,689千円 (内訳：27当初75,178千円、27補正693,511千円) ○平成30年度執行額 39,200千円 (内訳：27当初7,200千円、27補正32,000千円) ○令和元年度執行額 33,600千円 (内訳：27当初0千円、27補正33,600千円) ○令和3年度執行額 271,316千円 (内訳：27当初22,776千円、27補正248,540千円) ○令和4年度執行額 331,411千円 (内訳：27補正331,411千円)
事業の対象 となる区域	県内全域 (賀茂・熱海伊東・駿東田方・富士・静岡・志太榛原・中東遠・西部)	
事業の実施 主体	静岡県 (補助主体)	
事業の期間	平成27年4月1日～令和6年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある 医療・介護 ニーズ	地域包括ケアシステムの構築に向けて、第6期から第8期までの介護保険 事業支援計画等において予定している地域密着型サービス施設等の整備を行 う。	

	アウトカム指標： 静岡県全体		
	目標項目等	令和3年度実績	令和5年度目標
	①地域密着型介護老人福祉施設	1,283人	1,342人
	②介護老人保健施設 (療養病床からの転換分を含む。)	12,816床	13,049床
	③ケアハウス	2,547床	2,547床
	④定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	14カ所	18カ所
	⑤認知症高齢者グループホーム	6,489床	6,858床
	⑥小規模多機能型居宅介護事業所	161カ所	179カ所
	⑦看護小規模多機能型居宅介護事業所	36カ所	45カ所
事業の内容 (当初計画)	<平成27年度国当初予算分の事業の内容(当初計画)>		
	①地域密着型サービス施設等の整備に対する助成を行う。		
	整備予定施設等		
	地域密着型特別養護老人ホーム	58床(2カ所)	
	小規模多機能型居宅介護事業所	9カ所	
	認知症高齢者グループホーム	45床(3カ所)	
	認知症対応型デイサービスセンター	1カ所	
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	1カ所	
	看護小規模多機能型居宅介護事業所	2カ所	
	②介護施設等の開設・設置に必要な準備経費に対して支援を行う。		
支援予定施設等			
特別養護老人ホーム	397床		
地域密着型特別養護老人ホーム	58床		
養護老人ホーム(定員30人以上)	90床		
介護老人保健施設	220床		
ケアハウス	70床		
小規模多機能型居宅介護事業	81床		
認知症高齢者グループホーム	51床		
定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	1カ所		
看護小規模多機能型居宅介護事業所	宿泊定員18床		
訪問看護ステーションのサテライト事業所	1カ所		
アウトプット指標(当初目標値)	<平成27年度国当初予算分の当初の目標値>		
	域包括ケアシステムの構築に向けて、地域密着型サービス施設等の整備等を支援することにより、地域の実情に応じた介護サービス提供体制の整備を促進する。 ・地域密着型介護老人福祉施設 58床(2カ所))		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模多機能型居宅介護事業所 9カ所</li> <li>・認知症高齢者グループホーム 51床 (3カ所)</li> <li>・認知症対応型デイサービスセンター 1カ所</li> <li>・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 1カ所</li> <li>・看護小規模多機能型居宅介護事業所 2カ所</li> </ul>
<p>アウトプット指標 (達成値)</p>	<p>&lt;平成27年度国当初予算分のアウトプット指標 (達成値) &gt;</p> <p>○平成27年度執行分のアウトプット指標 (達成値)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域密着型介護老人福祉施設 58床 (2カ所)</li> <li>・小規模多機能型居宅介護事業所 4カ所</li> <li>・認知症高齢者グループホーム 45床 (3カ所)</li> <li>・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 1カ所</li> </ul> <p>○平成28年度執行分のアウトプット指標 (達成値)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模多機能型居宅介護事業所 5カ所</li> <li>・認知症高齢者グループホーム 1床 (1カ所)</li> <li>・看護小規模多機能型居宅介護事業所 1カ所</li> </ul> <p>○平成29年度執行分のアウトプット指標 (達成値)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模多機能型居宅介護事業所 H29整備分: 2カ所</li> </ul> <p>○平成30年度執行分のアウトプット指標 (達成値)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域密着型介護老人福祉施設 58床 (2カ所)</li> <li>・小規模多機能型居宅介護事業所 9床 (1カ所)</li> <li>・看護小規模多機能型居宅介護事業所 1カ所</li> </ul> <p>○令和元年度執行分のアウトプット指標 (達成値)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護小規模多機能型居宅介護事業所 1カ所</li> </ul>
<p>事業の有効性・効率性</p>	<p>&lt;事業の有効性・効率性&gt;</p> <p>事業終了後1年以内のアウトカム指標: 地域包括ケアシステムの構築に向けて、第7期介護保険事業支援計画等において予定している地域密着型サービス施設等の整備を行う。</p> <p>観察できなかった</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">観察できた</span> → 指標: 地域密着型サービス施設が増加し整備が進捗した。</p>

**(1) 事業の有効性**

地域密着型サービス施設が増加したことにより、高齢者が地域において、安心して生活できる体制の構築が図られた。

**(2) 事業の効率性**

- ・工事契約や物品等契約手続について、県・市町に準じて競争入札等の手法を導入することにより、経費の低減等の効率化が図られた。

その他

<平成27年度の執行額> 935,942千円

- ・地域密着型サービス施設等の整備に対する助成 439,660千円

整備施設等	
地域密着型特別養護老人ホーム	58床 (2カ所)
小規模多機能型居宅介護事業所	3カ所
認知症高齢者グループホーム	21床 (3カ所)

- ・介護施設等の開設・設置に必要な準備経費に対する支援 496,282千円

支援施設等	
特別養護老人ホーム	385床 (7カ所)
地域密着型特別養護	58床 (2カ所)
養護老人ホーム (定員30人以上)	90床 (1カ所)
介護老人保健施設	100床 (1カ所)
ケアハウス	70床 (1カ所)
小規模多機能型居宅介護事業	28床 (4カ所)
認知症高齢者グループホーム	45床 (3カ所)
定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	1カ所
訪問看護ステーションの大規模化・サテライト事業所	2カ所

<平成28年度の執行額> 363,141千円

(1) 平成27年度国当初予算分 75,141千円

- ・介護施設等の開設・設置に必要な準備経費に対する支援 75,141千円

支援施設等	
認知症高齢者グループホーム	1床 (1カ所)
介護老人保健施設	120床 (2カ所)

(2) 平成27年度国補正予算分 288,000千円

- ・地域密着型サービス施設等の整備に対する助成 288,000千円

整備施設等	
小規模多機能型居宅介護事業所	5カ所 (41床)
認知症高齢者グループホーム	3カ所 (36床)
看護小規模多機能型居宅介護事業所	1カ所 (9床)

<平成29年度の執行額> 768,689千円

(1) 平成27年度国当初予算分 75,178千円

・地域密着型サービス施設等の整備に対する助成 64,000千円

整備施設等	
小規模多機能型居宅介護事業所	1カ所 (18床)

・介護施設等の開設・設置に必要な準備経費に対する支援 11,178千円

支援施設等	
小規模多機能型居宅介護事業所	2カ所 (18床)

(2) 平成27年度国補正予算分 693,511千円

・地域密着型サービス施設等の整備に対する助成 693,511千円

整備施設等	
地域密着型特別養護老人ホーム	116床 (4カ所)
小規模多機能型居宅介護事業所	2カ所 (18床)
認知症高齢者グループホーム	3カ所 (36床)
看護小規模多機能型居宅介護事業所	1カ所 (9床)

<平成30年度の執行額> 324,449千円

(1) 平成27年度国当初予算分 44,789千円

・地域密着型サービス施設等の整備に対する助成 32,000千円

整備施設等	
小規模多機能型居宅介護事業所	1カ所

・介護施設等の開設・設置に必要な準備経費に対する支援 12,789千円

支援施設等	
小規模多機能型居宅介護事業所	1カ所 (9床)
看護小規模多機能型居宅介護事業所	1カ所 (9床)

(2) 平成27年度国補正予算分 279,660千円

・地域密着型サービス施設等の整備に対する助成 279,660千円

整備施設等	
地域密着型特別養護老人ホーム	58床 (2カ所)
看護小規模多機能型居宅介護事業所	1カ所

<令和元年度の執行額> 33,600千円

(1) 平成27年度国当初予算分 0千円

(2) 平成27年度国補正予算分 33,600千円

・介護施設等の開設・設置に必要な準備経費に対する支援 33,600千円

整備施設等	
看護小規模多機能型居宅介護事業所	1カ所 (9床)

<令和3年度の執行額> 271,316千円

(1) 平成27年度国当初予算分 22,776千円  
 ・介護施設等の開設・設置に必要な準備経費に対する支援 22,776千円

支援施設等	
介護老人保健施設→介護医療院	104床 (1カ所)

(2) 平成27年度国補正予算分 248,540千円  
 ・介護施設等の開設・設置に必要な準備経費に対する支援  
 (介護ロボット・ICTの導入) 138,595千円

介護ロボット・ICTの導入支援施設等	
大規模特別養護老人ホーム及び併設する短期入所生活介護事業所	322床 (3カ所)
認知症高齢者グループホーム	18床 (1カ所)

・介護職員の宿舎施設整備に対する支援 109,945千円

介護職員の宿舎施設整備支援施設等	
大規模特別養護老人ホーム	定員40人 (1カ所)

<令和4年度の執行額> 331,411千円

(1) 平成27年度国補正予算分 331,411千円  
 ・地域密着型サービス施設等の整備に対する助成  
 (大規模修繕) 100,667千円

広域型施設等の大規模修繕・耐震化支援施設等	
大規模特別養護老人ホーム	100床 (1カ所)

・介護施設等の開設・設置に必要な準備経費に対する支援  
 (介護ロボット・ICTの導入) 183,425千円

介護ロボット・ICTの導入支援施設等	
大規模特別養護老人ホーム及び併設する短期入所生活介護事業所	478床 (6カ所)
養護老人ホーム	50床 (1カ所)
軽費老人ホーム	30床 (1カ所)
地域密着型特別養護老人ホーム	20床 (1カ所)
認知症高齢者グループホーム	36床 (2カ所)

・介護職員の宿舎施設整備に対する支援 47,319千円

介護職員の宿舎施設整備支援施設等	
職員宿舎	定員28人 (3カ所)